

神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会の進捗状況について

1. 大会新日程決定時に設定した「5つの柱」と主な取り組み

【1】 選手の活躍を引き出す最高の舞台の実現

- 補助競技場のレーン増設（6レーン→バックストレート8レーン）（令和2年度）
- 大型映像装置の更新（令和2年度）
- メインスタンド座席の個席化（約3,000→約9,000席）（令和2年度）
- パラ陸上競技用設備（座位投てき用サークル）（4か所）の設置（令和3年度）

→大会期間中に、車いす席を仮設で増設するなど選手と観客が一体となれる会場づくりを実施



【2】 様々な支え手の力を結集した大会の運営

- 大会ボランティア事業
運営事業者を決定し、ボランティア実施計画書の作成
(令和4年11月～)
- 機運醸成のプロモーション活動
競技用車いす・スポーツ義足体験会（市内各所：令和4年4月以降随時）や大会アンバサダーとパラアスリートとのトークイベント（都内：令和4年10月）など
- 協賛や寄附を通じた支援
協賛獲得事業者を決定し、協賛及び機運醸成企画の実施
(令和4年11月～)

ふるさと納税（令和3年度～）やガバメントクラウドファンディング（令和4年11月～）の募集
→市民、企業や大学、地域団体等による資金支援、ボランティア募集等による皆で支え、作っていく大会づくりを実施



【3】 パラスポーツを通じた障害や多様性への理解促進

- パラアスリートによる体験型授業「あすチャレ！スクール」の実施
小・中・特別支援学校で、令和3年度：9校、
令和4年度（今後の予定を含み23校）
- 科学技術高校の生徒による競技用器具の製作（令和3年度）

→大会期間中に、未来を担う子どもたち等による観戦・応援プログラム等の実施による障害や多様性への理解促進



【4】 持続可能性への最大限の配慮

- 会場にバリアフリートイレ（11 か所→24 か所）、手摺（523 か所）、点字ブロック（10 か所→73 か所）の設置、スロープの改修（令和2～5年度）
 - 照明のLED化（令和3年度）
- 大会期間中に、選手等の輸送に交通局が導入する燃料電池バスの活用、宗教や文化に配慮した飲食の提供など、環境負荷低減や多様性に配慮した大会運営



【5】 世界に向けた兵庫・神戸の魅力発信

- 大会ホームページの開設（令和3年度～）
- 大会期間中に、会場周辺での観光案内・物産の展示販売（マーケットストリートの設置）、地元産農水産物を活用した食事の提供、ユニバーサルツーリズムの発信による兵庫・神戸の魅力発信



2. 大会予算

予算規模：約 27 億円～30 億円

（1）支出内訳

会場競技運営：約 14 億円～16 億円

宿泊輸送等：約 13 億円～14 億円

（2）収入内訳

協賛等：約 4 億円～5 億円

助成金：約 3 億円～4 億円

市負担金：約 20～21 億円（ふるさと納税等を充当）

3. 今後の取り組み

令和5年4月 日本パラ陸上競技選手権大会（会場：ユニバー記念競技場）を本大会のテスト大会として実施

5月 大会ボランティアの募集開始

7月 パリ世界パラ陸上競技選手権大会(7/8～7/17)において本大会のPR

(参考) 大会の概要

(1) 主 催 国際パラリンピック委員会 (IPC)

(2) 運 営 神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会 (LOC)
会長： 増田 明美 (日本パラ陸上競技連盟 会長)

(3) 全体日程 令和6年(2024年)5月12日(日)から5月26日(日) 15日間
競技：5月17日(金)から5月25日(土) 9日間

イベント	日程
各国選手団 入国開始	5月12日(日)
各国選手団 トレーニング開始	5月13日(月)
クラス分け	5月13日(月)～15日(水) ※予備日：5月16日(木)
開会式(競技開始)	5月17日(金)
閉会式(競技終了)	5月25日(土)
各国選手団 出国最終日	5月26日(日)

(4) 競技会場 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

(5) 練習会場 ユニバー記念競技場補助競技場、神戸総合運動公園球技場、
しあわせの村(多目的運動広場)

(6) 参加者 約100の国と地域から合計 約2,300人
〔
・ 選手約1,300人(うち400人は車いす使用)
・ 役員約1,000人(各国パラリンピック委員会、チームスタッフ等)
※ このほか IPC/WPA ファミリー(国際審判団・スタッフなど約100名)、
メディア関係者等が来日予定

(7) 種目数 約170種目(IPCが決定)

(8) 大会理念

- ▶ TSUNAGERU つなげる - パラリンピックムーブメントの継承とパラスポーツの振興
東京2020パラリンピックにおける感動や興奮を継承し、パラスポーツへの関心を高める。
- ▶ HIROGERU ひろげる - 国際親善の促進
『国際スポーツ都市神戸』を世界に発信し、スポーツを通じた交流の輪を広げる。
- ▶ SUSUMERU すすめる - インクルーシブな社会の実現
本大会をきっかけに、障害者をはじめ誰もが暮らしやすいまちづくりを進める。